



KASAMA FAN

2013年 夏号

VOL.035

笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ!

ファン倶楽部通信

<http://www.city.kasama.lg.jp/fanclub/>



表紙写真提供(敬称略) 鈴木健司 藤井浩一 高田昇一/フォトコンテスト応募作品より

笠間昔話「笠間稲荷門前通り」 笠間再発見「純・笠間焼」 関東やきものライナー

夏のイベント情報(夏祭り情報 ほか)

観光客の皆さんに聞きました

食の逸品「いわまの栗アイス」

第13代 かさま観光大使のご紹介

かさまアート情報 我らは笠間応援団! ほか

ものづくり体験/コース No.13-0104

窯元に弟子入り

詳しくは

[笠間観光協会 HP](#) [検索](#)



旅行プラン 

古来、窯元では制作や色付けは無論、粘土自体の精製など全ての作業を自分で行っていました。そこでこのコースでは、窯元に弟子入りしたつもりで土を精製する所からはじめます。単なる陶芸体験ではなく、じっくりとこだわりの笠間焼を作ってみてください。小さなお子様からご家族で楽しめます。

旅行代金…6,400円～9,000円(タクシー付き)
出 発 日…毎日(月曜除く)



写真協力／山中写真館



1 菊まつりでにぎわう笠間稲荷門前通り（昭和27年） 2 旅館の井筒屋前で芸妓たちによる笠間音頭が披露された（昭和5年）
3 歩道幅が広がる笠間稲荷門前通り（完成予想イラスト）

生まれ変わる笠間稲荷門前通り

レトロなボンネットバスが目を引く白黒写真は、昭和27年の『笠間稲荷門前通り』です。当時は高橋町通りと呼ばれていました。菊まつり開催時に撮影されたため、大勢の観光客でにぎわっています。笠間の観光を支え続けてきた笠間稲荷神社に面するこの通りは、笠間の顔とも言えるメインストリートの1つです。この『笠間稲荷門前通り』が近々、歩行者にやさしい通りとして生まれ変わります（完成予想イラスト参照）。

歩道幅が広げられ、車道には地元のみかげ石を使う計画で、平成27年3月の完成を目指しています。また、通りのランドマークであった旅館の井筒屋は、震災の影響で残念ながら閉館してしまいましたが、温浴も楽しめる宿泊施設としてリニューアルされる予定です。現在、具体的な整備計画を策定しているところで、平成27年にオープン予定です。ますます魅力的になる笠間のこれからに、どうぞご期待ください！

笠間稲荷神社 問/tel 0296-73-0001

http://www.kasama.or.jp/

◆車の茅の輪くぐり 6/23(日) 10:00~

場/佐白山麓笠間稲荷神社外苑駐車場 料/1,000円~

◆夏越の大祓式—茅の輪くぐり— 6/30(日) 16:30~

◆事比羅祭 8/1(木) 13:00~

◆末社祭 8/1(木) 15:00~

茅の輪くぐり▶

◆献燈祭 8/4(日) 17:00~

◆中秋祭 9/19(木) 16:30~

◆小笠原流弓術奉納式 9/23(月・祝) 12:30~



出雲大社 常陸 問/tel 0296-74-3000

http://www.izumotaisha.or.jp/

◆夏越大祓祭(なごしのおおはらいさい) 6/30(日) 14:00~

◆ガラスフェア(出雲館) 8/10(土)~8/15(木)

◆夏のみたままつり 8/15(木) 18:00~

◆甲子祭(きのえねさい) 8/26(月) 8:00~

◆秋のみたままつり 9/23(月・祝) 11:00~ 樹木葬仙雲亭にてアート展開催

稲田禪房 西念寺(稲田御坊) 問/tel 0296-74-2042

http://www.inadagobo.org/

◆サマーセミナー(第18-2回 親鸞講座)

「中国仏教と親鸞—『高僧和讃』を手がかりに—」



7/20(土) 13:00~16:00 講師/今井雅晴氏(筑波大学名誉教授)

「釈迦と親鸞—『浄土和讃』を手がかりに—」

7/21(日) 9:00~12:00 講師/黒田義道氏(京都女子大学准教授)

今井先生と黒田先生のご対談「原始仏教・中国仏教から日本仏教へ」

7/21(日) 12:00~12:30

料/2日5,500円、1日3,000円(要予約、スプリングセミナー受講者は割引有)

◆玉日様・恵信尼様報恩講と秋季永代経法要

お説教があります。9/7(土)・9/8(日) 13:00~14:00

玉日廟への「わらじ参り」があります。9/8(日) 8:30~9:45

イベント各種 ※掲載は開催日時順

◆平神社 祇園祭(花火大会)

7/27(土)・7/28(日) 昔ながらの當家制度を受継ぐ祭。上町、中町、下町、橋爪の四町で神輿を担ぎ、各町内を練り歩きます。当主は神輿が當家に来るまでの間、四方竹の中にこもり、渡御中は、話すことを禁じられます。また、1年間、キュウリと川魚を口にしていけないそうです。

場/平町、橋爪地区

◆八坂神社の祇園祭

8/3(土)・8/4(日)(予定)

八坂神社の神輿や子ども神輿が市内を練り歩きます。

場/笠間稲荷神社門前通りほか

問/笠間観光協会 tel 0296-72-9222

◆第13回 全国こども陶芸展 in かさま

8/1(木)~9/1(日) 9:30~17:00 ※8/5、19、26は休館

場/茨城県陶芸美術館 県民ギャラリー

問/茨城新聞社 営業企画部 tel 029-221-3206

◆十六夜まつり

8/13(火)・8/14(水) 18:00~21:00

笠間芸術の森公園にほど近い、陶の小径(とうのこみち)では、地元の陶芸家や窯元などが制作した約1,000本の陶の筒灯りが歩道に並べられ、幻想的な夏の夜を演出します。

場/陶の小径 問/やまさき陶苑 tel 0296-72-6865

◆笠間のまつり

8/16(金) 灯籠流し 18:00~21:00(20:30最終受付)

8/17(土) ねぶた&神輿パレード 18:00~21:30

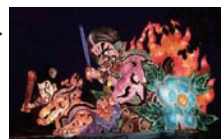
笠間の夏を彩る恒例のお祭りです。8/16には「灯籠流し」、8/17には「光の創作オブジェ(ねぶた&神輿)パレード」が行われます。市民手作りのねぶたや、「ラッセラー、ラッセラー」の掛け声で知られる跳ね人による盛り上がりは圧巻です。

笠間のまつり▶

場/笠間稲荷神社周辺

問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

笠間観光協会 tel 0296-72-9222



◆GARAGE PICNIC BAZAAR vol.8

9/21(土)・9/22(日) 10:00~17:00(最終日は16:00まで)

場/笠間市上加賀田1035 問/tel 090-3478-4723 (宮本)

◆第5回 月見の会

9/21(土) 18:00~20:00

「中秋の名月」に笠間つつじ公園山頂にて、秋の一夜を楽しんで頂きます。かがり火とキャンドルで演出する「笠間稲荷ばやし」などの演目は必見です。地元で手作りの食事をご用意してあります。

場/笠間つつじ公園 問/tel 080-1987-1146 (福田)

◆陶ISM in 笠間ギャラリーロード商店会

9/21(土)~9/23(月・祝)

若手陶芸家と商店会が一緒になって陶芸の楽しさを発信する、新しい形のお祭りです。9/21~23に、特別イベントを集中して開催。9/21~23を含む1週間~1ヶ月の間は、作品展示を予定。(※作品展示は会場により、会期が異なりますので、HP等で最新情報をご確認ください)

場/笠間ギャラリーロード

問/「陶ISM in 笠間ギャラリーロード商店会」実行委員会

(金澤美術内) tel 0296-71-7566

◆第7回 かさま新栗まつり

10/5(土) 9:00~16:00、10/6(日) 9:00~15:30

場/市民センターいわま(笠間市役所岩間支所)

問/笠間市農政課 tel 0296-77-1101

▼北山公園・キャンプ場

おすすめ施設・定期開催イベント

◆北山公園・キャンプ場

無料のキャンプ場とバーベキュー場があります。料/無料(キャンプ場の使用、鉄板レンタル、ほか)

問/北山公園管理事務所 tel 0296-78-3911



◆スカイロッジ・バーベキュー広場

燦々と降り注ぐ太陽の下、標高300メートル付近から遠く太平洋、霞ヶ浦が望めます。

営/10:00~14:00 料/1セット2,550円

問/スカイロッジ管理事務所 tel 0299-45-6622

◆笠間いきいき市場

毎月第3日曜日 9:00~15:00

場/畜産試験場跡地(笠間市みどりの広場)

問/いきいき市場事務局 tel 0296-78-5888

笠間いきいき市場▶



◆栗の家 骨董市

毎月第1・3日曜日 6:00~15:00 場/栗の家

問/tel 0299-45-5124(※悪天時:誠屋 tel 090-1660-3460)

◆パズル de いわま 毎月第2日曜日 9:00~15:00

場/岩間駅南広場

問/(根本) tel 090-3009-7883

笠間の粘土を使いブランド力を強化 笠間再発見

純・笠間焼



笠間の粘土100%を使った「純・笠間焼」で、産地としてのブランド力を強化したい…
笠間焼協同組合による笠間焼の新たな挑戦のスタートです。



ひとことで「純・笠間焼」と言っても、作り手の個性により様々な形、色合いがあります。



話を聞かせていただいた笠間焼協同組合の深町明事務局長。



陶炎祭～ひまわり～会場にはたくさんの「純・笠間焼」ブースが並びました。

笠間焼協同組合は、茨城県窯業指導所の協力のもと、笠間の粘土を100%使用した「純・笠間焼」の開発に成功。首都圏への販売拡大を見込み、笠間焼のブランド力を強化する取り組みをスタートさせました。

「純・笠間焼」は、延べ46万8千人が来場し、GWに開催されたイベントとしては県内最多の観光客を集めた「陶炎祭～ひまわり～」で公式デビュー。特設ブースを設置し、60軒の窯元が作陶した1,000点ほどの作品が展示され、注目を集めました。

笠間は陶芸の里として知られていますが、これまで笠間焼の特徴を聞かれた際に「特徴がないのが特徴」

などと答えざるを得ませんでした。というのも、鉄分を多く含んだ笠間の粘土は粘りが強く、ろくろ成形には向いていますが、焼成時に作品が割れやすいため、敬遠されてきた経緯があります。そのため笠間焼は岐阜県的美濃や滋賀県の信楽など、大半は他産地の粘土で作陶されてきました。

今回の開発では、最適な焼成温度を導き出すことに成功。釉薬を使わなくても滑らかな質感が得られることから、素焼工程を省略できるメリットも生まれました。今後は商標登録も視野に入れながら、産地としてのブランド力を強化していく計画です。

観光客の皆さんに聞きました

何処から来ましたか？ 笠間へ来たのは何回目ですか？

in 陶炎祭～ひまつり～ 2013.4.29-5.5



10回以上来ています。
陶炎祭だけをじっくり楽しめます！



初めて来ました。出雲大社と
つつじまつりに行きました。



4回目。焼物が大好きです。
つつじまつりも行ってきました。



地元です。陶炎祭は毎年
楽しみにしています。

in つつじまつり 2013.4.20-5.12



10回以上来ています。今日は
笠間稲荷神社と温泉へ行きます。

笠間は3回か4回目。これから陶炎祭へ行きます。▶



10回以上来ていますが久しぶりに
来ました。笠間稲荷神社へ行きます。



秋葉原と笠間・益子を結ぶ高速バス

「関東やきものライナー」運行開始！



スペシャルWebサイト「かさましこ」
<http://www.ibako.co.jp/kasamashiko/>

東京・秋葉原駅と笠間・益子間をつなぐ高速バス「関東やきものライナー」が、2013年4月18日より運行開始しました。東京方面からは焼物の里「笠間・益子」への直行便として、笠間・益子からは安価に利用できる東京行き的高速バスとして注目されています。毎日運行され、



運行開始した「関東やきものライナー」



東京・有楽町駅前で開催

料金は2枚チケットで大人2,500円(片道1,250円)。1人で往復に使っても、2人で1枚ずつ使ってもOK。2枚チケット1枚で小児2名の利用もできます。

笠間・益子の乗り場は笠間が笠間手越、やきもの通り、笠間駅前、笠間稲荷神社入口、笠間ショッピングセンターの5ヶ所。益子が陶芸メッセ入口、益子駅の2ヶ所となっています。駐車場が用意されている乗り場もあるので、マイカーの併用も便利です。詳しくはスペシャルWebサイト「かさましこ」をご覧ください。

■ 笠間日動美術館 問/tel 0296-72-2160

◆長瀬 剛 第5回 詩画展 2013

「殺気 黒い血が流れる日」 6/6(木)～8/18(日)
開/9:30～17:00(入館受付は16:30まで)
休/毎週月曜日(但し7/15は開館、7/16は休館)
料/大人1500円、65歳以上1000円、学生800円
春風萬里荘(北大路魯山人旧居)との共通券大人1,800円、65歳以上1,300円、学生1,000円
◇美術講座「一日画家体験」 7/13(土)「マックス・エルンスト」
定員/30名(受講料無料、入館料要、材料費自己負担)
10:00～11:30「画家の人生を学んで体験」
13:00～16:00「画家の作風を模写で体験」



■ 笠間工芸の丘 問/tel 0296-70-1313

◆笠間焼 伝統工芸士展 6/18(火)～7/7(日)
◆新井倫彦展 6/18(火)～6/30(日)
◆根本達志・峯吾 父子陶展 7/2(火)～7/15(月・祝)
◆LOVE BOWL Vol.3 7/9(火)～7/21(日)
◆食卓の情景展 7/17(水)～8/4(日)
◆月下窯展 7/23(火)～8/4(日)
◆迫二郎・杉山洋二ガラス展 8/6(火)～8/18(日)
◆伊藤アトリエ展 8/20(火)～9/1(日)
◆日本工芸会東日本支部茨城研究会 8/20(火)～9/1(日)
◆佐藤陶房 9/3(火)～9/16(月・祝)
◆秋元智香陶展 9/10(火)～9/23(月・祝)
◆さがわはるな陶展 9/18(水)～9/29(日)
◆大貫博之陶展 9/25(水)～10/14(月・祝)



ガラスで楽しむ
夏のくらし

■ 茨城県陶芸美術館 問/tel 0296-70-0011

◆第22回 日本陶芸展 7/13(土)～9/8(日)
料/一般700(550)円・高大生500(400)円・小中生250(200)円 ※()内は20名以上の団体料金
◆受贈記念「原清展」 6/5(水)～6/23(日)
料/一般300(250)円・高大生250(200)円・小中生150(120)円 ※()内は20名以上の団体料金
◆コレクション展「新収蔵品展」 5/28(火)～9/16(月・祝)
料/一般300(250)円・高大生250(200)円・小中生150(120)円 ※()内は20名以上の団体料金
開/9:30～17:00(入館受付は16:30まで)
休/毎週月曜日(但し7/15(月)、8/12(月)は開館、7/16(火)は休館)

■ ギャラリー情報

◆Jギャラリー 問/tel 0296-73-4541
●東雲窯 鈴木慎一 鈴木あかね 二人展 7/4(木)～7/30(火)
●重太郎窯 岩見正巳 作陶展 8/3(土)～8/30(金)

●つばめ窯 廣野敏 高橋協子 二人展 9/1(日)～9/29(日)

◆かつら陶芸 問/tel 0296-72-6688
●及川美智子 作陶展 9/14(土)～9/29(日)

小さなガラスの
表現者たち



◆きら館 問/tel 0296-72-3109
●小林政美 作陶展 6/15(土)～8/14(水)
笠間の作家。オブジェを展示予定。
●近藤ケイ 作陶展 8/15(木)～9/14(土)
笠間の若手作家。オブジェ等を展示予定。
●原田省平 作陶展 9/15(日)～11/14(木)
愛知県の作家。オブジェ等を展示予定。
●吉見螢石 「吉見螢石作陶展～書と陶の融合」 6/18(火)～6/30(日)
大阪府出身の作家。日本最古の焼物、須恵器の焼成をベースに書と陶が融合する独自の作品を創作。
●野村晃子・木村扶由子・加藤百恵・本藤千寿「花とつもみの夏」 7/12(火)～7/15(月・祝)
瀬戸の作家。夏を彩るステキな器とアクセサリーなどの展示。
●外山基雄 高橋協子 「STORY'S 2013」 7/17(水)～7/28(日)
笠間の作家。毎年開催している人気ギャラリー展。
●「ねこ展」 7/30(火)～8/18(日) 20名以上のねこ作家集めてのねこ展。
●安藤喜代子 作陶展 8/20(火)～9/2(月)
瀬戸の作家。カラフルなパッチワーク模様が人気。
●西村俊彦 作陶展 9/4(水)～9/16(月・祝)
益子の作家。細やかな線文シリーズが人気。
●落合杜寿子 作陶展 9/18(水)～9/29(日)
益子の作家。登り窯で作った焼締の器など。

和モダンなガラス



◆Glass Gallery SUMIO 問/tel 0296-72-2104
●和モダンなガラス～川北友果・田聡美・元木庸子 7/13(土)～7/28(日)
●ガラスで楽しむ夏のくらし～土屋章・大山隆・松浦あかね・酒井真一・伊藤ナツキ 8/3(土)～9/1(日)
●小さなガラスの表現者たち～皆川禎子・岩崎智子 9/14(土)～9/29(日)

◆ギャラリー桜 問/tel 0296-72-0803
●茶碗 福野道隆展 6/15(土)～6/30(日)
鮮やかな色彩と線で描くシャープな文様。福野作品の魅力を茶碗に凝縮。

◆回廊ギャラリー門 問/tel 0296-71-1507
●沖 誠 作陶展 6/22(土)～7/5(金)
2012年いばらきデザインセレクション知事選定を受賞された、沖誠さん待望の初個展。
●伊藤剛俊と仲間たち(仮) 7/6(土)～9/19(金)
益子で活躍中の伊藤剛俊さんを中心とした作家たちの企画展。
●田村 一 作陶展 7/20(土)～8/2(金)
益子から秋田へ拠点を移し、作陶されている田村一さんの初の個展。

魚福

笠間産の野菜や地魚を中心とした、笠間焼の器で
いただくランチがオススメです。

【会員特典】※有料会員限定

ソフトドリンク1杯またはオススめにぎり1貫サービス

【企画】五感で味わう笠間～初夏の饗宴～

平成25年7月15日(月・祝)まで

初夏、緑美しいこの季節、女性笠間焼作家四人を迎え、笠
間稲荷神社の「夏越しの大祓い 茅の輪くぐり」を器と料理
で表現しました。笠間の風物詩を五感でお楽しみください。



住/笠間市赤坂9-16
電/0296-72-7775
営/11:30～14:00
17:00～22:00
休/水曜日
https://ja-jp.facebook.
com/kasama.uofuku

大津晃窯

国道355号線沿いに位置し、親切な指導者のもと、
ロク口体験、手ひねり、絵付けが楽しめます。豊富な
品揃えの店舗では、お気に入りの作品がきっと見つ
かりますよ。

【会員特典】お買い上げ価格より10%引き(※陶芸教室料金は除く)

住/笠間市手越68 電/0296-72-4323

営/8:00～18:00 休/年末年始(陶芸教室のみ)

http://www.ohtsukouyou.com/



煎餅屋 仙七

一番人気の「めれやき煎」は今までのめれ煎餅のイ
メージを覆す新食感。お煎餅としての心地よい歯ごた
えと、大豆しょうゆの香ばしい香りを是非お楽しみく
ださい。毎日手作りの「無添加だんご」も大好評です。

【会員特典】お買い上げ価格より5%引き



住/笠間市笠間1558-1
電/0296-72-1138
営/10:00～19:00
休/水曜日
http://www.senshichi.com/

笠間ファン倶楽部*会員募集中*

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外)の眼が
多くの笠間人(内)の眼とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。
ぜひ皆さんお申し込み下さい。※無料会員と有料会員があります。

笠間市役所 商工観光課(笠間ファン倶楽部事務局)

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-77-1146
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間のいな吉寿司
推進キャラクター
笠間特別観光大使
笠間のいな吉®



メールの際にはタイトルに
「笠間ファン」と記載してください。

←笠間のいな吉ブログはこちら
観光・イベント情報や様々な取り組みなどを配信中!



笠間ファン倶楽部 フェイスブックページ

笠間ファン倶楽部のイベント情報
や笠間市の観光情報、特産品の情
報など、笠間市の楽しい情報をタ
イムリーに皆様にお知らせして
いきます。ぜひご覧の上、「いいね!」
または「シェア」をお願いします。



笠間ファン倶楽部
facebookページURL
http://www.facebook.com/
kasamafan



かさま観光大使/南 知子・川又夏美

いわまの栗アイス（小田喜商店）

やわらかく食べ頃になった栗アイスを口にくぐると、濃厚な栗の味が口いっぱいに広がります。栗ペーストを30%以上使用して贅沢に作られるこの栗アイスは、どんなプレミアムアイスにも負けない、食材を活かした力強いおいしさがあります。栗加工品の製造・販売で全国から高い評価を得ている小田喜商店が、乳製品作りのノウハウで特化した技術を持つ美野里ふるさと公社の力をかりて開発しました。

茨城県は栗の生産量日本一です。中でも笠間の岩間地区は全国有数の産地ですが、知名度はいまひとつ。そんな状況を打破すべく、特産品である栗をブランド化しようと、ペーストや甘露煮などの栗の加工品を精力的に世に送りだしてきたのが小田喜商店です。栗アイスは直販のほか、同社のホームページから購入出来ます。栗と砂糖だけで作ったオリジナルの“ぎゅ”という栗菓子をつまみながら、栗と砂糖だけをトッピングするとさらにおいしさアップ。おすすめです！



価格は525円（100ml）。
通年販売されています。



栗について熱く語る小田喜保彦代表取締役。

株式会社 小田喜商店

住／笠間市吉岡185-1 電／0299-45-2638
ホームページ <http://www.kurihiko.com>

FAN FAN KASAMA

いつ行ってもものごころな自然の中に古い歴史を感じる。落ち着きとそれを大切にしている人々のあたたかさ、芸術に励む若い人達の息づかいを感じます。（千葉県・女性）

自然豊かで施設が充実している笠間市で、子どもをのびのび遊ばせたいと思います。（東京都・男性）

笠間に生まれ、笠間を離れ、笠間が好きで終の住み処を笠間に決めました。もっと好奇心旺盛に笠間を知りたい、他の人にも知って欲しいと思う自分を知りました。（笠間市・女性）

生まれ育ったまちなのでこれからもういまちでいてほしいです。（笠間市・男性）

第13代 かさま観光大使のご紹介

***** 南 知子（写真・左）*****

Q1：かさま観光大使への応募のきっかけは？

地域の情報誌の募集記事がきっかけです。笠間は好きな場所で度々訪れており、イベントにかかわる仕事にも興味があったため、応募しました。

Q2：自分のチャームポイントは？

笑顔です。目が無くなり、頬がより一層ぼちやります。

Q3：趣味・特技は？

趣味は読書とカメラです。読書はジャンルにとらわれず様々な作品を読みます。カメラはかじっている程度ですが、いつか作品にしてみたいです。特技はモノマネです。動物の音が得意です♪

Q4：観光大使の制服は気に入っていますか？

とっても気に入っています。帽子のかぶり方を研究中…。

Q5：笠間のおすすめスポットは？

『笠間芸術の森公園』は広く美しく天気の良い時は最高に寛げると思えます。『出雲大社 常陸』はパワーをもらえる神聖な場所です。他にも沢山ありますので、もっと見つけたいです！

Q6：観光大使としての抱負は？

訪れてくださったお客様ひとりひとりに『また笠間に行きたい！』と思っていただき、実際に越えたいだけのようなまちづくりに少しでも貢献できるよう、笑顔で精一杯頑張ります。よろしくお願い致します！

***** 川又 夏美（写真・右）*****

Q1：かさま観光大使への応募のきっかけは？

小さな頃から家族と笠間へ遊びに来ていて、思い出のある笠間の観光大使になれたら嬉しいと思い応募しました。

Q2：自分のチャームポイントは？

雰囲気癒し系だね、とよく言われます(笑)

Q3：趣味・特技は？

野球観戦によく行っていて、自分でスポーツをすることも好きです。

Q4：観光大使の制服は気に入っていますか？

ピンク色がかわいらしくて、特に帽子がとても気に入っています。

Q5：笠間のおすすめスポットは？

素敵な場所もたくさんありますが、名産の栗やいなり寿司といった美味しいグルメを楽しむこともオススメです。

Q6：観光大使としての抱負は？

多くの方に笠間の魅力を知っていただけるようPRし、笠間を訪れた方の素敵な思い出作りをお手伝いできるよう努めていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

笠間ファン倶楽部 体験事業報告

佐白山のおとうふ屋さんで学ぶ 家庭でもできる豆腐づくり&いちご狩り



3月に開催した体験事業では、笠間クラインガルテンを会場にして、豆腐づくりを行いました。茨城の在来種である「たのくろ豆」と天然にがりを使用した本格的な豆腐はとても繊細。温度やにがりの量が少し違うだけで、味や固まり具合が変わってしまいます。

そんな難しい豆腐づくりを教えてくださいましたのは、佐白山のおとうふ屋さんで主人・河原井信之さん。河原井さんの丁寧な指導のもと、豆腐づくりにチャレンジしました。

出来上がった豆腐は少しゆるくなってしまいましたが、皆さんおいしそうに召し上がっていました。

豆腐づくりの後は、いちご狩りを行いました。真っ赤に染まった旬のいちごを収穫し、その場でいただきました。採れたての甘くてみずみずしいいちごに、皆さんで満悦の様子でした。

このような楽しいひと時を過ごすことが出来たのは、河原井信之さん・笠間クラインガルテンのスタッフの皆さまにご協力いただいたおかげです。ありがとうございました。



結ばれた陶の里「かさましこ」

益子町観光協会 会長 外池 茂樹（株式会社 外池酒造店 代表取締役）



に喜んでおります。茨城交通様をはじめ笠間の皆様のご尽力に心から感謝しております。それを機に、「かさまし観光協議会」を笠間市、益子町、笠間観光協会、益子町観光協会とで立ち上げました。笠間と益子は関東の焼き物のメッカとして多くのファンの方々にお越しいただいておりますが、これから更に、両地の特徴を生かし、お客様にもっと楽しんでいただけるように協力して様々な方法で活動していきたいと思っております。どうかよろしく願います。

私にとって、笠間は、子供の時に祖父に連れられて行った笠間稲荷と菊まつりの思い出の地です。菊の栽培が趣味だった祖父は丹精込めて菊を育てておりました。その祖父の菊の花が菊まつりの品評会の会場で金賞の短冊を付けられて展示されているのを見て子供ながらにすごいなと思った記憶が蘇ります。また、笠間の印象は酒の旨い街です。笠間で飲み歩いた夜に笹目酒造

さんの横の道で、吟醸酒を醸すいい香りが蔵から香ってきたのを鮮明に思い出します。

さて、私は観光協会に関わって、焼き物を知る機会が増えました。歴史を紐解くと、益子は笠間の弟の関係とのこと。それは江戸時代後期に益子焼をはじめた大塚啓三郎が笠間で陶器づくりを学んだことに始まっているからです。仏の山峠をはさんだ両地は、似たような道をたどってきました。水道が整備される以前、水汲みが子供の仕事であったころ、当地で作られた水甕が台所の必需品で、味噌が現在のようにペースト状で売られる前は、朝の味噌汁に入れる味噌に入っている大豆をすりつぶすり鉢もどこの家にもあった。その水甕、すり鉢、食器などを生産し販売していた両地。当時、観光客は来ていなかったでしょうね。そんな中でも、明治時代後期に、製品をたくさん輸出していた記録もありました。現在のクールジャパンの輸出戦略のようです。更に歴史を見ていくと、関東大震災のときには、東京方面に貨車で支援物資として大量の陶器や米、材木類を送った記録がありました。一昨年 of 東日本大震災での私たちの対応と先人たちの行動が同じだったと知り、時代はめぐると感じます。

その後、時代は変わり、水道や金属の鍋釜の普及で陶器の需要は減り、両地は個人作家の手造り品で新たな魅力を発信し、多くのお客様にお越しいただく産地になって、高度成長期、陶芸ブームがあり、春・秋の陶器市はすでに40年の歴史を数えます。

若い陶芸家たちの交流も盛んですし、益子焼と笠間焼を並べる店もたくさんあります。笠間が自由な作風の個人作家の多様な商品が豊富なのに対し、益子には、量産品もあることや浜田庄司先生の民芸運動の影響を受けた商品も多いのが両地の違いでしょうか。板谷波山先生に始まる茨城工芸会、松井康成先生が存在、益子の浜田先生、島岡達三先生、加茂田章二先生が存在をはじめ多くの先人たちの活躍で現在のこの地の賑わいがあるのだと思います。また、多くの陶芸ファンの皆様の思いでこの地が支えていただいていると感じます。とにかく、この「かさましこ」関東の焼き物のメッカが今後ますますファンの皆様にお越しいただけるように連携して頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

笠間へのアクセス

Access

